



三輪神社のなかでひとけむり目を引く
【三輪町】



桜ぶりの良い五重のしたれ桜



第52回大和郡山お城まつり



又兵衛桜(本郷の濃桜) 【宇陀市】

1、春になりました

「寒さの終わりは彼岸だが、まだまだあるぞ一切経」(奈良古謡)この言葉の詳しい意味は知らないが、拙宅付近はまだまだ寒い。毎日通る『龍田川公園』の桜も、芽が固そうで、「日本平から竜華寺・清水四中の桜は入学式まで持たない」とか、「鳥坂妙立寺の大日さんは葉桜だ」などというのに比べると、ここ斑鳩は、静岡より数日は桜が遅いのであろうか。.....奈良付近の花見所をご紹介します。

・桜の名所	・場所	・交通	・見ごろ	・寸言	・問合せ先
-------	-----	-----	------	-----	-------

① 吉野山	奈良南部	近鉄吉野山	4月	もちろん日本一	0746-32-3081
② 大中公園	大和高田	近鉄高田	3月下4月	美景・夜桜が有名	0745-22-1101
③ 又兵衛桜	宇陀拾生	近鉄榛原	4上~中	後藤又兵衛屋敷跡	0745-82-2457
④ 千年桜	宇陀佛隆寺	バス	4中~下	奈良最古・最大桜	0745-82-2457
⑤ 石上神宮	天理外苑	JR天理	3下~4上	古代の山の辺の道	0743-63-1001
⑥ 長谷寺	桜井初瀬	近鉄長谷寺	4上~中	花の御寺・五重塔	0744-47-7001
⑦ 大和郡山	郡山城	JR・近鉄郡山	4上~中	桜百選 古城と金魚	0743-52-2010
⑧ 宇治川	宇治平等院	JR宇治	4上~中	宇治川は大盛況	0774-23-3334
⑩ 奈良公園	JR・近鉄郡山付近		4上~中	東大寺・興福寺の桜	0742-22-0375





2、生駒笛吹きクラブ

大阪のリコーダーの会に行った際、久しぶりに元高校教諭でリコーダー奏者の上村さんと再会し「奈良では知らないが、生駒にはリコーダークラブがある」と聞いて、生駒公民館を尋ねたが、所在がつかめないでいたところ、さらに上村さんからお便りを頂き「生駒笛吹きクラブ」のことを知った。友情に感謝！

活動場所が、老人介護施設であることに驚きながら出掛くと、これは当方の思いで、この日は、たまたま訪問演奏のボランティア活動をしておられたのだった。

簡単なお紹介を頂き「早速に一緒に演奏に参加して」とのことで吃驚したが、小学唱歌を数曲とのことなので、車へリコーダーを取りに戻り、バスリコーダーで参加。

10曲ほどを2回ずつ練習し、これといった注意も指導もなく「自由に吹いてください。楽しそうに吹けばいいです」とのこと。代表であり指導をされているのは大阪女子短大の岩谷正敏先生で「上村先生や三木貞夫先生とは旧知の仲。アカデミックなことには触れず、リコーダーを楽しく吹くことを大切にしています」とのこと。この時の人数は20数人だったが、全体メンバーは30数人になるという。

男女比は2：3程度だろうか。リコーダー希望というと通常はほとんどが女性だが、ここでは男性が健闘し、手にする楽器もテナーが多い。元の仕事は会社員の方が多らしく、司会担当の方は元新聞記者とのこと。『汽車』の“思うまもなくトンネルの闇を通過してヒロノハラ”は「広い野原」ではなく「広野の原」であるとか。『みかんの花咲く丘』は静岡の伊東で作られ、紀州ミカンではない。などの説明があった。

私としては何としても「音楽が出来る環境」が欲しいので、当分はこのクラブに参加させて貰うことにする。転居の際に楽器・楽譜資料・作曲作品や編曲物・参考書類などは、縁ある方々に差し上げたし、記録なども多くは焼却処分してしまったので、今後は心機一転、やり直しの勉強をし、作曲・編曲などもしてみたい。

※ キーボードはこちらでは全く見かけないので、川崎中心の活動になる見込み。

3、奈良の歴史は確かに奥深い

奈良の歴史が奥深いことは今更に述べるまでもないが、奈良新聞で毎日のように「新発見」「新発掘」と報じられると、いささかうんざりもする。歴史考察にも科学の成果が応用されて、今まで見過ごされていたものにも光が当たるようになり「新」が多くなるのであろうか。

そうした中で「新」ではないが、「なるほど凄い」と思わせられることもある。例えば『東大寺二月堂のお水取り』である。

これまでの私の単純知識では「二月堂の前の井戸から水を汲み上げ仏前に供える。その際に大きな松明を持って堂内を駆け巡って火の行をする」程度の浅はかなものだったが、紹介される新聞記事を見ていると「これは大変な事だ」と思うようになってきた。その全体像を記述する力には私にはないが、日時を追うと次のようになる。

法要は修二会(しゆにえ)といい、二月堂本尊の十一面観音に国家安泰と万民安楽を祈る。天平勝宝四年(752)から一度も欠かさずに行われてきた行事。「お水取り」

正月＝この行事を行う僧侶4名とこれを助ける7名、計11名が決まり、準備開始。

2月20日 心身精進の前行開始。28日二月堂下の参籠所に入って本行開始。

3月1日より各種の荒行を行う。主な行法としては

イ 過去帳＝奈良時代から現代までの東大寺有縁の人の戒名を読み上げる。

第一番に読み上げられるのは「聖武天皇」である。

ロ 走りの行法＝二月堂内陣を全力疾走する。

ハ 12日深夜：お水取り＝二月堂下の井戸から一年分の水を汲み上げる。

ニ 達陀(だつたん)＝古代インドの火法。大松明を持って堂内を駆け回る。

絶食しながらの荒行だが、着用する衣服は紙で作るとか、履物も昔からの作法で作られ、十一面観音によく聞いてもらうためにカタカタと歩くたびに大きな音がするように作るなどの工夫があるという。



菅原道真公の生誕地
菅原八幡宮に咲く紅梅

初瀬寺 花の浄土の観世音
恭仁京址 礎石に染みる春の雨
発掘土器洗う作業場 春近し
三笠山 望む丸窓 雛の膳
残雪に 鹿の足跡 柳生道
啓蟄や 業平道を踏破する
被われし東塔 春の雲流れ
ガンバレは口先だけでガレキ拒否

騎馬武者の駆けし城道 梅が咲く
さすが古都 鹿がお辞儀して廻る
揚げ雲雀 宮址の空も賑やかに
麗らかや高田城跡の大ケヤキ
門前に大きな幟 人麻呂忌
梅が香が仏に届く破れ寺
ガンバレと桜に言われハッとす
喰い納め？ 高いウナギをチッと喰う

4、静岡日中・奈良日中

静岡 4月4日

静岡県浙江省提携30周年記念式典
式典の余興に川勝平太静岡県知事がオーケストラの指揮をしたのも見事だったが、夏宝龍浙江省長が二胡で名曲「二泉映月」を演奏したのには感嘆!!!



30
静岡県
浙江省

静岡県・浙江省
友好提携30周年

奈良 4月7日

恒例・佐保川観桜会



いつもなら佐保川の水もぬるみ、若者は水に入って楽しむというが、今年は桜の開花も4～5日遅れ、3日の春の嵐の余波で寒かった。でも、中国青年が大勢来てくれて交流が行われる。